

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成20年 7月 18日

【評価実施概要】

事業所番号	2278300229
法人名	医療法人社団 大法会
事業所名	グループホーム 耀
所在地 (電話番号)	浜松市浜北区永島 675-1 053-585-5452

評価機関名	セリオコーポレーション株式会社
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成20年4月19日

【情報提供票より】(平成20年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年1月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	13人, 非常勤 3人, 常勤換算 10

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄骨造り	
	2階建ての	1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有(70,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	60,000円	有りの場合 償却の有無	有(2年間)	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(平成20年4月1日)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	5 名	要介護2	8 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.2 歳	最低	67 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	遠江病院(歯科含む)・遠州病院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの名称「耀(かがやき)」は、内なるものがきらめき活気に溢れる様を意味し、その願いを込めて職員一同誠意を持って利用者を支援している。また、地域密着型に相応しい基本理念・方針・活動内容を定めて活動している。特に方針に基づき、利用者の意思・ペースを尊重し、居心地の良いホーム作りに努力している。ホーム開設から6年目を迎えており、ご多分に漏れず利用者の機能低下への対応が課題となってきた。幸い法人医療機関のバックアップ、利用者や家族・近隣との良好な信頼関係を活かし、更に利用者一人ひとりが耀くホーム作りに邁進されたい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>① 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>昨年の指摘項目は、殆ど改善されていた、特に理念の共有化・評価の意義の理解・地域との連携が図られていた。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価票を職員全員で話し合って作成し、1・2Fの特徴も浮き彫りにされていた。職員の日々のケアのマンネリ化を防ぐため、19年4月に個人目標を定め、20年3月に結果を報告し、自己評価や外部評価を真摯に受け止めて改善に取り組む姿勢が覗えた。</p>
重点項目	<p>② 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議を2ヶ月に1回、欠かさず開催し、利用者、家族、市職員、民生委員、地域包括センター担当者が参加し、施設の現状や問題点などを話し合い、サービスの質向上に生かしている。現状報告は良いことばかりでなく、アクシデントや入退去・職員の移動等率直な報告が行われており、参加者からも率直な意見が出されている。</p>
重点項目	<p>③ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族等と職員の間に関係が築かれており、意見・要望・不満などが言いやすいものとなっている。利用者の暮らしぶりは、写真入のホーム便り「耀だより」で定期的に家族等に報告している。便りには、利用者によってそれぞれ異なる言葉が添えられており、細やかなケアの実際をみてとることができた。</p>
重点項目	<p>④ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域とは頻繁な交流が認められる。町内の自治会に加入し、夏祭り、節分などの行事に参加している。地域住民から野菜・花などを頂くことがあったり、夏祭りでは、利用者が作った紫蘇巻きが、地域住民に大好評である。夜間災害時の具体的な連携マニュアル作りが期待される。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念は「加齢により生活に障害を持つ方が、住み慣れた地域で、その人の思いや願いを大切にするケアにより、その人らしくかがやいて穏やかな日々を過ごせる場所を提供します。」と言うものであり、地域密着型サービスの模範とも言える理念が明示されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念が、事務所・廊下などに、利用者の筆による心温まる書物として掲げられており、職員はその実現に向け、結果のみならず取り組み経過を重視しつつ、日々話し合い努力している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の自治会に加入し、夏祭り、節分などの行事に参加している。地域住民から野菜・花などを頂くことがあったり、夏祭りでは、利用者が作った紫蘇巻きが、地域住民に大好評であるなど、頻繁な交流が認められる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価票を職員全員で話し合い作成した。日々のケアのマンネリ化を防ぐために、外部評価改善点を真摯に受け止め、次につなげる取り組みをしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地区の代表者の参加はこれからであるが、利用者、家族、市職員、民生委員、地域包括センター担当者が参加し、運営推進会議を2ヶ月に1回、欠かさず開催し、その場で施設の問題点などを話し合い、サービスの質向上に生かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者と密に連絡を取っている。日常的に問題点を話し合いサービスの改善に向け取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	利用者の暮らしぶりは、写真入のホーム便り「耀だより」で定期的に家族等に報告している。便りには、利用者によってそれぞれ異なる言葉が添えられており、細やかなケアの実際をみてとることができた。また必要に応じ電話連絡をするなど、個々に合わせた対応がみられた。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等の訪問時に、職員は積極的に挨拶や会話をし、家族等が気軽に話の出来る環境を作っている。その結果、家族等と職員の間信頼関係が築かれており、意見・要望・不満などが言いやすいものとなっており、それらがホームの運営に反映されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や退職はごく稀であり、各ユニットの職員は、原則固定している。利用者に影響を与える問題は、近年起こっていない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修を月1回の全体会議後に行っているが、職員数に余裕が無いため、外部研修に参加する機会が少ないようである。	○	職員補充も含め、もう少し勤務シフトを柔軟なものとし、内部研修の充実、外部研修への積極的な参加を期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国と県のグループホーム協会に加入しており、見学者や実習生を受け入れている。そのことにより、他施設の状況などの情報を得て、サービス向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者や家族等の希望により、事前に施設見学を行っている。利用者の施設利用が決まった時点で、管理者と担当職員が出向いて面談し、利用者が馴染み易い環境を整えている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者からしめ飾りの作り方や料理の方法など、生活の知恵を数々教えられている。そのような日々の状況で、職員は、利用者を人生の先輩として対応し、支え合う関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	絵を描くことの好きな利用者に対し、時間を制約することなく見守ることを基本にしたり、食事のご飯の盛り付けを利用者に任せるなど、利用者本人の希望に則した対応をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月2回の往診結果を基に、利用者の担当職員・計画作成担当者を中心に、ユニット会議・日々のカンファレンスの中で、家族の意見・要望も取り入れ、利用者本位のケアプランが作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しは勿論のこと、状態変化時や本人・家族の要望があった時にはカンファレンスを行って随時見直しを行ない、現状に即した介護計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の希望や状況により、個別に外出支援をしたり、通院支援や入院時の付き添い支援などを行っており、利用者・家族が安心して暮らし続けたいけるよう、その時々要望に応じて対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	納得の上で、全ての利用者・家族が当事業所と同じ法人の病院をかかりつけ医に希望されており、適切な医療を受けられる環境にある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「重度化した場合における対応に係る指針」が定められており、その中で一律でなく、個々の状況に応じて本人・家族・かかりつけ医との間で相談することが決められている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉遣いや態度には充分注意し、お便りの写真掲載の事前了解を得る等、人権の尊重に努めている。また、記録に関しても個人情報を漏洩することのないように配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のADL(日常生活動作)の差を見極めながら、その方のペースを尊重し、希望に沿ってその日の暮らしを支援するよう心がけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	「食は文化」の意識の基に、メニューの希望・食材の買い物・ご飯の盛り付け・後片付け等、できることへの利用者の参加機会を作り、食事を楽しむ支援を心掛けている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調を見ながら、毎日・夜間・入浴剤の使用等工夫しながら、無理強いすることなく入浴を楽しめるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の重度化に伴い、一人一人の役割りや楽しみごとが少なくなっているが、野菜の皮むき・卵焼・味付け・こんにやくちぎり・食器洗い・洗濯・掃除・畑仕事・絵を描く事・書道・回覧板を届けに行く・歌を唄うなど、特技や楽しみを活かした生活の支援を心がけている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出の大切さや必要性を理解しており、短時間でも散歩やドライブ・買い物等に誘っているが、重度化に伴い充分支援できていない方も居られ、家族アンケートでも要望がある。	○	遠出だけが外出ではないので、少しでも足腰を動かすこと・戸外の空気を吸うこと・人との触れ合いの機会を持つこと等、地域との交流を含めて更なる努力をお願いしたい。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアの大切さを理解しており、玄関・階段・エレベーター等の使用は利用者本人の意思に委ねられており、職員は見守りに徹している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	夜間も含めて年2回の防災訓練が行われ、災害時のマニュアルもあるが、地域の人たちとの協力関係作りは充分とは言えない。	○	最近多発する不慮の災害を考えたとき、特に夜間の近隣の協力は不可欠である。今後の運営推進会議の重要な課題として、具体的なマニュアル作りに取り組まれたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同一法人の管理栄養士に、実際に食べた献立の栄養計算やバランスの検討を依頼している。その結果を献立に活かしたり、食事作りの参考にし、摂取量や嗜好により、個別に支援もされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は高齢者に相応しい安全・快適な作りになっているが、2Fの雰囲気について、少し季節感や生活感が不足しているように思われた。	○	季節の花や利用者の作品、各種イベントでの触れ合いの様子等、季節感や生活感の演出を工夫されたい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には自宅で使っていた馴染みの家具や調度品、本人にとって大切な思い出のアルバムや装飾品など家族と相談しながら用意され、穏やかに過ごせるような工夫されている。		